

## 企業活動の進め方Ⅲ

トヨタの森の取組

日時：平成22年11月14日（日） 10:00～12:00

講師：池上 博身（トヨタ自動車社会貢献推進部）

### 概況



#### ○「トヨタの森」と生物多様性保全活動について

・環境社会貢献取り組みの全体像

トヨタ自動車株式会社の進める環境社会貢献の取り組みは、「森づくり(環境保全)」「人づくり(環境教育)」「地域づくり(環境活動助成)」の3本柱で構成される。

・「トヨタの森」とは

環境社会貢献の一環として、「森を軸とした循環型社会づくりの実現」を目指すことにより環境にかかわる企業イメージのいっそうの向上を図ることを狙いとする「トヨタの森」は、1996年から40haの社有林を利用して、身近な自然環境(里山)の中で、「緑による環境の改善」を実践し、その成果の普及を図ることを目的としており、「里山学習館 エコの森ハウス」を併設している。ここでは、「樹木の成長量」と「種の多様性」を指標とする「エコモニタリング」を10年間継続実施し、整備効果を定量的に評価するとともに、手入れにより豊かさを取り戻した里山を環境教育・学習の場として活用している。

「トヨタの森」では、来訪者に対し、

- ①個人のライフスタイルを見直す必要性や大切さを伝える
- ②生命を大切にする気持ち、さらには自然への感謝と畏敬の念を育む
- ③人と自然、人と社会についてのさらなる学びのきっかけとしていただくことをインタープリターの役割・使命としている。

・「豊森」について

昨年5月から、豊田市・NPO 法人地域の未来支援センターと協働し、“山里から、まちから、森と暮らしをつなぐ人のためのプロジェクト”である「豊森(とよもり)」を開始した。森を中心とした自然生態系の利用を軸とする持続可能な地域循環型社会の仕組みを生み出し、都市と農山村の暮らしの中で人と人の心をつなぎなおす「豊森モデル」を構築することを目指している。